

## 2009年改定の重要課題の動向は！？

2009年改定に向けて 厚生労働省の動きが活発になってきました。今後の制度改革の焦点は いくつかありますが なんといいても重要なのは「被保険者・受給者範囲の拡大」と「療養病床廃止と地域ケア整備構想」です。

### 【被保険者・受給者範囲の拡大】

「介護保険制度の被保険者・受給者範囲に関する有識者会議」では 本年度末までに結論を出す予定でしたが 保険者(市区町村)の反対に加えて 障害者8団体すべてが反対の意向を示すなど 議論が混迷しています。3月7日第6回の会議でも 本年5月に「とりまとめ」を行うことは決まりましたが それも「中間とりまとめ」的なものにならないと得ないという状態です。同日の会議では「介護保険制度の被保険者及び受給者の範囲に関する有識者調査」(医療経済研究機構)が示されました。「将来 被保険者・受給者の範囲を拡大すべきかどうか」については

#### 将来 範囲を拡大すべき

「賛成」 16.9%  
 「どちらかといえば賛成」 15.0% (計31.9%)

#### 拡大すべきではない

「賛成」 11.8%  
 「どちらかといえば賛成」 8.6% (計18.4%)

将来的には**拡大**も考えられるが現在は**慎重**であるべき  
 「賛成」 19.7%  
 「どちらかといえば賛成」 22.5% (計42.2%)



という結果が出ました。この結果をどう読むかは 意見を 拡大について「容認」とするか「反対」とするかで 大きく異なってきます。介護保険を普遍化するという理念的については 異論を唱える人間は少ないのは当然です。にもかかわらず議論がまとまらないのは 介護保険の普遍化はタテマエで「保険料収入の拡大をなんとしても実現したい」という国のホンネが透けて見えるからではないでしょうか。

### 【療養病床廃止と地域ケア整備構想】

昨日(3/12)開催された第3回「介護施設等の在り方に関する委員会」において「療養病床アンケート結果」が公表されました。

療養病床からの転換について意向を尋ねた結果は次の通りです。

「介護型から医療型への転換または医療型での存続」 49.6%

「介護型のまま存続」 3.9%

「介護施設へ転換」 9.6%

[内訳]

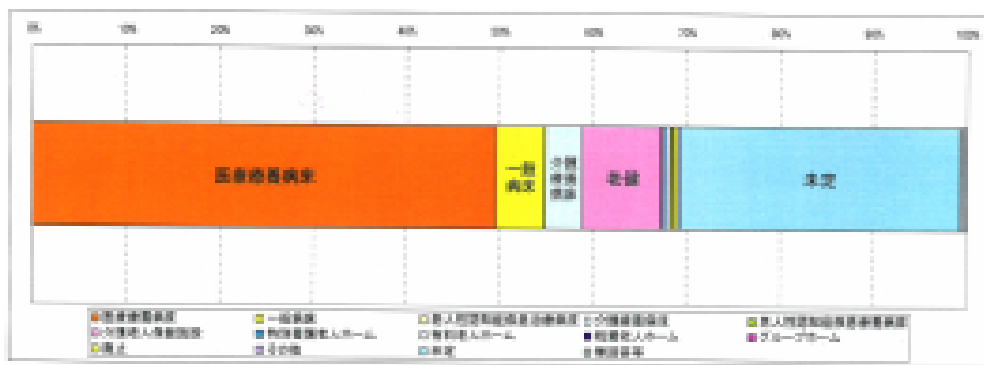
介護老人保健施設 8.5%

有料老人ホーム 0.7%

特別養護老人ホーム 0.3%

軽費老人ホーム 0.1%

「未定」 30.0%



施設種別	施設数	有効回答数	有効回答率	「介護型から医療型への転換または医療型での存続」	「介護型のまま存続」	「介護施設へ転換」	「未定」
介護老人保健施設	1,124	1,124	100%	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%
有料老人ホーム	1,124	1,124	100%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
特別養護老人ホーム	1,124	1,124	100%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
軽費老人ホーム	1,124	1,124	100%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1,124	1,124	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	4,500	4,500	100%	49.6%	3.9%	9.6%	30.0%

今の時点では 経営者が判断できかねて様子見といったところでしょうか。厚生労働省は 転換に際して障壁が多いとの意見を受けて 療養病床再編の基準を一部改正する方針を固めました。具体的な内容は未定ですが 病院と有床診療所で転換の基準が異なっている点などを改正する予定です。3月中に方針をまとめて4月以降の早い時期に新基準を採用する模様です。また 審議の中で 療養病床協会の代表委員があれこれ不満を漏らすのは仕方ないところといえますが 老協協の委員から 低所得者対策として「多床室の整備を認めよ」という発言がありました。「危機感のあらわれ」といえば聞こえはいいですが 相変わらず 顧客(利用者)・市場ニーズについていけない 時代錯誤の体質を露呈しています。



株式会社ウエルビー

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 13-14-102  
 Tel : 03-5428-5785 Fax : 03-5428-5786

伸びる介護事業者「顧客づくり・顧客開発」の決め手!! 月刊「あっとほーむケア」  
 ご希望の方に見本紙を差し上げます(無料)。お気軽にご連絡ください。  
 e-mail : info@well-be.net http://www.well-be.net